

すぎなみ すぎなみ大人塾新聞

大人“熟”してる？

総合コース
コトバ・ラボ
#4

平成30年8月24日発行
発行元：社会教育センター（事務局）



第4回 「役割語」って何だ？ 金水 敏さん (大阪大学)

<公開講座>
8月3日(金)
視聴覚室
受講生 31名



第4回は大阪大学の金水敏教授をゲスト講師としてお迎えしました。そもそも「役割語」とは？ その言葉が生まれた理由は？ 「アルヨ」言葉って？ など、興味深いお話をたくさん伺いました。講座の最後には、童謡「桃太郎」の歌詞を「役割語」に変えてみるワークも。桃太郎と犬が様々なキャラクターに置き換わりました。

皆さまの感想より(抜粋)

- ・役割語は日本語を面倒なものにも内容豊かなものにもしていると感じました。
- ・役割語はとてもわかりやすいですが、“くくり”で見やすい、見がちであるという側面からすると差別につながるので、使う際には気を付けたいと思いました。
- ・普段から人物像と話し方のひもづけをしながら暮らしていることを感じた。
- ・マンガの例題が多くわかりやすい。
- ・言葉と人格や生き様が強く結びついているし、逆に言葉遣いが、人の行動を制するという面があるのだなあと改めて感じました。
- ・役割語は時代によって作られ、変えられてきたのがよくわかりました。

などなど、今回もたくさんの感想をいただきました。

ワークショップ

犬と桃太郎のセリフの部分を変えて、そのキャラクターならどのように話しかけてみましょう。メロディーにのせることは考えなくて良いです。(作例は金水先生作)

「桃太郎」 (作詞：不詳)

(犬)

桃太郎さん 桃太郎さん
お腰につけた きびだんご
一つわたしにくださいな

(桃太郎)

やりましょう やりましょう
これから鬼を征伐に
ついて行くなら やりましょう

作例

(犬)

桃太郎はん 桃太郎はん
お腰につけてはる きびだんご
一つわたしにいただくちゅうわけにはいきまへやろか
わて、なんぼでもがんばりませー

(桃太郎)

おお やんべ やんべ
これから鬼ば征伐に
ついてくつーごんだら やんねえでもねえべ
鬼ヶ島さついたら、すっかり(しっかり)働きなせえ

各班で、1つずつ発表してもらいました。デパートのアナウンス(桃太郎) / ファストフード店員(犬)、宇宙語(桃太郎) / お嬢さま(犬)、悪代官(桃太郎) / 商人(犬)、二丁目オネエ(桃太郎) / 小泉純一郎(犬)、江戸弁(孫悟空)(桃太郎) / 白鳥麗子(犬)、はっつあん(桃太郎) / やじさん(犬)、大家さん(犬) などなど。実際に雰囲気たっぷりに読み上げていただき、難しいワークショップではありましたが、大変盛り上がりました。



インターンシップ生の感想

時代を経る中で新しい「役割語」が生み出されていくことを、言葉の歴史や、漫画・小説の例から学ぶという貴重な体験をさせていただきました。ワークショップでは、受講者のみなさんから出される意見がとても面白く、固定観念にとらわれないセリフづくりを行うことで、より深く役割語を考えることができるのだと感じました。(大塚)

私は社会教育センターでのインターンシップの一環として、「すぎなみ大人塾総合コース」に参加させていただきました。堅苦しいものなのだろうか……と不安な気持ちがある中で参加しましたが、いざ始まってみるとそんなことは忘れていました。ユニークな題材を元に語られる先生のお話、意外と難しかった「桃太郎」のワーク。盛り沢山な内容であっという間に時間が過ぎました。まるでサークルのような楽しい雰囲気が流れる、そんな金曜の夜でした。(佐藤)

今回もたくさんの感想をお寄せいただきありがとうございました。ワークショップでは、皆さん様々な役割語を用いて桃太郎のストーリーを発表してくださり、驚きました。次回は「標準語」って何だ？です。お楽しみに。